

## 平成29年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	富沢文洋
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	
<b>事務事業名</b>	10660 屋代線跡地活用事業											
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
<b>施 策</b>	06033300 橋や道路整備の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費										
	<b>事業</b>	030000 屋代線跡地活用事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
須坂市長野電鉄屋代線跡地活用基本構想に基づき、長期的なまちづくりの推進や沿線地域の諸課題の解決を図り、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。						活力ある地域づくりと交通体系の充実をはじめ、地域住民の日常生活に必要な生活関連施設であり地域振興に大きく貢献する役割を果たす。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
維持管理	維持管理ならびに、県の元気づくり支援金を活用した手作り普請協働事業により、地域住民と協働して簡易舗装の整備を行なう。
<b>平成29年度 予定</b>	<b>平成30年度 予定</b>
維持管理	
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>

指標名	旧屋代線跡地整備工事						
算式						単位	m
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	700	0	0	0	0	
	実績	700					
指標選定の理由	須坂市長野電鉄屋代線跡地活用基本構想に基づき須坂市長野電鉄屋代線跡地利活用庁内検討委員会議論経過により整備内容を策定						
最終年度目標の根拠	須坂市長野電鉄屋代線跡地利活用庁内検討委員会議論経過						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		5,827	500
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		5,827	500
人員数(人)	正規職員	0.2	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,443.8	721.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,443.8	721.9
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		7,270.8	1,221.9

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	432	除草等業務委託
15節 工事請負費	3,993	原材料費、遊歩道整備
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,402	

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	500	草刈り委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	低い
評価コメント	公道としての必要性が乏しい	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効ではない
評価コメント	一般的な公衆用道路とかけ離れている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	悪化
評価コメント	維持管理の経費が嵩むだけである。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

手作り普請事業をし、一定の整備が図られた。今後の維持管理のみが課題となっている。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
跡地の有効利用・維持管理等も含め、地域住民との協働事業として継続して進めていく。		地域住民の利便性の向上、快適な生活環境の充実を図るため、地域にあった活用方法で協働事業として進めていく。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	